

令和4年度第1回さぬき市行政改革推進委員会 会議要旨

開催日時	令和4年8月2日（火）午後2時00分～午後4時00分
場 所	さぬき市役所3階 302会議室
出席者	[委 員] 計10名 長山委員（会長）、元山委員（副会長）、池田委員、井出委員、越智委員、木村（イ）委員、木村（英）委員、國方委員、下地委員、六車委員
	[事務局] 計6名 向井審議監 総務部：中野部長 総務部政策課：間嶋課長、原田課長補佐、多田係長、田中主査
欠席者	石田委員
傍聴者	なし
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状の交付 3 委員及び事務局の紹介 4 会長挨拶 5 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 会議の進め方、スケジュールなどについて (2) さぬき市の人口推移等について (3) 行政改革実施計画（令和3年度）の進捗状況について (4) 次期行政改革実施計画策定方針について 6 その他 7 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1 さぬき市行政改革推進委員会 委員名簿（令和4年度） ・資料2 さぬき市行政改革推進委員会設置要綱 ・資料3 次期（令和5年度～令和8年度）行政改革実施計画策定スケジュールについて ・資料4 さぬき市行政改革実施計画（令和元年度～令和4年度） ・資料5 さぬき市の人口推移等について ・資料6 さぬき市行政改革実施計画（令和3年度）取組項目進捗状況一覧 ・資料7 さぬき市行政改革実施計画取組項目一覧 ・資料8 さぬき市財政健全化策取組項目一覧 ・（当日配布）行政改革推進委員会 意見調書

開会	
議 題 事務局	(1) 会議の進め方、スケジュールなどについて ＜資料3、4について説明＞
委 員	(質疑なし。)
議 題 事務局	(2) さぬき市の人口推移等について ＜資料5について説明＞
会 長	施設のうち、急激に利用者が変化するのは、小学校だと思います。地域ごとに産まれた子どもの人数は、把握されていますか。行政区ごとでなく、小学校校区ごとではいかがでしょうか。現在の1歳児の人数が分かれば、5年後の小学1年生の人数が予測でき、各小学校の生徒数の偏りを予測できると思います。
委 員	小学生の人数は、保育所や幼稚園を利用している人数で把握できると思います。
会 長	市立の保育所等の子どもの人数から、小学校区ごとの人数が予測できますね。それでは、職員数の推移について、御意見ありませんか。
委 員	一般行政職の職員数を絞っているようですが、専門職の保健師については、令和2年、令和3年は職員数を維持していますね。しかし、令和4年は、計画より一人減っていますが、対応できなかったのでしょうか。
事務局	これは、途中退職によって減少しているもので、計画外の要因によるものです。
会 長	保健師は、主に乳幼児の相談業務に当たっていますか。
事務局	乳幼児だけでなく、高齢者に関わる業務もございます。
委 員	人口推移についてですが、この資料では、自然増減と社会増減が分からないので、次回に出していただくと有難いです。自然増減は、どの市町も減少しています。社会減がどの程度に収まっているか確認したいです。
会 長	2025年の徳島文理大学の移転により、一定数の学生は、住民票を移され社会減となるため、今後、注視しなければならないですね。 次回の推進委員会の際、人口増減のうち自然増と社会増も記載した資料を用意してください。 人口が減少すると、地方交付税も減少し、これに合わせて職員数を決めていかなければ、一般財源が回らなくなります。次期実施計画には、職員数を指標として出す

	<p>のでしょうか。</p>
事務局	<p>担当各課へ取組項目の検討について、これから依頼するため、現時点では決定していません。</p>
会 長	<p>人件費の推移を予測して、職員数に移し替えているイメージでしょうか。</p> <p>資料4の表2では、義務的経費である人件費、扶助費、公債費が掲載されています。人件費の推移を推定し、最終的に定員管理まで落とし込む方法を取っていると思いましたが、定員管理の表が無いですね。</p>
事務局	<p>定員適正化計画というものを作成しており、この人数を基準として、計画値としています。</p>
会 長	<p>実施計画を策定する以前に、定員適正化計画があるということですね。定員適正化計画は、何年間の計画でしょうか。</p>
事務局	<p>令和6年度までの5年計画です。今回は、令和7年度に新たな計画となります。</p>
会 長	<p>令和6年分までは、既に計画があり、終了すると、5年分を新たに策定するのですね。</p> <p>実施計画においては、定員適正化計画の人数の枠内で人件費を管理しているということですね。</p>
委 員	<p>民間企業だと、一人当たりの収益が伸びているかという業務の質について計測できると思いますが、地域サービスが向上しているかどうかを確かめるには、どこを見たらよいでしょうか。職員数だけの論議では、危険だと思います。</p>
会 長	<p>そもそも定員適正化計画は、どのように作られていますか。</p>
事務局	<p>人口規模や産業規模が似ている類似団体の総数や内訳を比較し、現状を踏まえ、どれだけの人員が必要なのか内訳も含めて勘案しながら、定員適正化計画を作成しています。</p>
委 員	<p>職員を減らし、サービスの質が上がっているかどうかは、別の項目で確認することによってよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>行政サービスの質は、個々の職員的能力等に関係しますので、職員数と行政サービスを関連付けて、一概に評価するのは難しいです。現在、総合計画の策定に際して、アンケートを行っており、このような行政サービスを評価いただく仕組みはご</p>

	<p>ざいます。</p>
会 長	<p>評価の仕組みは、なかなか難しいですね。現業部門は、直接的なサービスを計測しやすいですが、行政サービスの質を測る調査は充実したものはなく、市民アンケートでどこの部分が弱いかを把握しているということですね。</p>
委 員	<p>各課長が担当事業を把握し、必要な職員数を伝えているのですか。</p>
事務局	<p>管理職から次年度の要望を確認し、全体を調整して人員配置を組んでいます。 大きな変化があれば、人数が前後することも起こりうると思いますが、長期間で全体数を調整しながら、このなかで内訳を配分しています。</p>
委 員	<p>多能工のように、1つの特定した業務を行うだけでなく、繁忙期に他の課へ応援に行くような人材育成を行っていないのですか。</p>
事務局	<p>一部の専門職については、兼務辞令を出すことにより、他の課の業務にも当たってもらうような働き方を行っています。</p>
委 員	<p>事務職については、多くの所属を経験されるため、どの所属でも応援に行くことが可能だと思います。人事異動で各課に異動していくため、各部署の専門知識を得ることができるはずです。</p>
事務局	<p>事務職については、仰るとおり異動で多くの所属を経験していくことになります。</p>
委 員	<p>職員数を減らすだけでなく、効率的に活用していただけたらと思います。</p>
議 題 事務局	<p>(3) 行政改革実施計画（令和3年度）の進捗状況について ＜資料6について説明＞</p>
委 員	<p>具体的取組内容と期待される効果の記述欄について、同じ文言になっている項目があります。ここは、改善したほうが良いと思います。 もう一つは、評価方法について、自己評価とともに他己評価、総合評価を入れないと評価が甘くなり、評価の価値が下がるのではないかと思います。重点項目だけでも良いので、他己評価を入れないといけないと思います。</p>
会 長	<p>期待される効果については、取り組みによって得られる成果を記載するのが一般的だと思います。具体的な成果の記載を工夫したほうが良いでしょう。 また、他者による評価に関しては、担当者が原案を作成し、担当課で確認されてい</p>

	<p>るため、課長補佐や課長等の上席から確認されていることとなります。</p>
委員	<p>期待される効果について、具体的に申しますと、観光収入の確保の項目です。例えば、期待される効果を主な観光地の多言語化表示を増やす等が該当するかと思います。観光収入の効果で何が期待されるかを書くと良いです。</p>
会長	<p>⑤公債費の負担適正化です。近年の複数の大型公共事業の実施と記載されていますが、具体的には何の事業のことでしょうか。</p>
事務局	<p>津田子ども園、寒川庁舎、寒川小学校の新築、改修工事のことを指しています。</p>
委員	<p>ある出張所は、月曜日、水曜日、金曜日の3日間開いているが、金曜日が祝日になった際、週2日間しか開かない。今後は、この日の代わりに前日に開けます等、情報発信をしてほしいです。</p>
会長	<p>利便性を損なわないよう配慮が必要だということで、休日に開けないまでも、代わりに別の平日を開けるなり、周知を徹底する配慮が必要だということですね。</p>
委員	<p>公立保育所についてですが、ある幼稚園では園児が3名しかいませんでした。今後、公立幼稚園はどうなっていくのかと思っています。</p> <p>さぬき市で子育てがしたいと思い、Uターンするようなまちにしなければいけないと思います。</p>
会長	<p>預ける人が少なくなり、子ども園に再編する等がありますが、そのような議論がなされる常設の有識者会議はありますか。</p>
事務局	<p>常設の委員会はございませんが、担当課は必要な際には協議し、今後のあり方については、常時検討を行っています。</p>
委員①	<p>子どもが少ないと感じたので、子どもたちに関する課題について、さらに議論を進めて欲しいと思います。</p>
委員②	<p>日本全体で人口減少が進んでいます。根本にはそれがあるから、どうしてもそうなってしまいます。このため、どうやってさぬき市に住んでもらうかというところを議論しないといけないと思います。</p>
委員③	<p>預ける場所が近所であるとか、預ける年齢であるとか、保護者のニーズが異なるため、年度によって、ある年齢のクラスが開園できない場合もあります。このため、園児が3名という話も聞いたことがあります。市内でも、民間の企業内託児、病院内</p>

	<p>託児がありますが、年度によって子どもの人数に変動があります。子どもの増減があっても、公立では対応できるように思いますが、民間託児になると、保育士が確保できてないため、断らざるを得ない状況もあります。</p>
<p>会 長</p>	<p>人口流出の問題は、何が原因かが分からないので、どの対策が効くか分かりません。このため、人口増加の論点は別となりますが、住民にとっては、育児サービスが高い方が住民の満足度は高くなると思います。しかし、無限に財源があるわけではないので、効率的に運用していきたいというところですね。</p>
<p>委 員</p>	<p>子どもを時間外で預けるといって、幼稚園でも保育園でも限度があると思います。有料になりますが、さぬき市には、ファミリーサポートセンターという制度があります。保護者が仕事から帰るのが遅ければ、食事を作って食べさせてもらえます。安心して子どもの面倒を見てくれますので、そのような選択肢も検討していただくのも良いでしょう。</p>
<p>議 題 事務局</p>	<p>(4) 次期行政改革実施計画策定方針について <資料7、8について説明></p>
<p>会 長</p>	<p>類似の計画や指針が複数あることは、望ましくないため、計画を統合することは適切だと思いますが、統合した結果、項目が増える傾向があります。このため、行政改革関連の項目は、これをやれば行政改革が進むという項目に絞ったほうが良いと思います。総合計画等を意識して、項目を盛り込むことは、やめたほうが良いです。重要な新規項目があれば、それを盛り込み、代わりに項目を1つ削るような出入りがあった方が良いと思います。</p> <p>財政健全化策は、効果金額が小さい項目も並んでいますが、大きくお金が削減できなければ、項目を削除して良いように思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>取組項目を少なくした方が良いと思います。ポイントを押さえて、皆さんと協議し、行政改革を実現していくほうが良いと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>他に意見がないようなので、以上で会議を終了いたします。</p>
<p>閉会</p>	